

事業の概要

【実施背景】

- 地域課題を題材としたふるさと教育の充実や、中学生議会などを通じて、町について考え、愛着を深めるための取り組みを行ってきた。一方、町内に高等学校が無いことから義務教育終了以降に他地域へ若者が流出してしまう状況があり、将来的な町の担い手の育成については課題を抱えている現状がある。
- 昨年度は、小学生段階から町や政治への親しみを持つ体験から、将来的な町の担い手育成を目的とし、議場見学や議員との交流の中で意見を伝えるプログラムを作成した。今年度はその成果を踏まえつつ、新たな視点として「税金とその使われ方」を主題とし、フィールドワークやまちづくりボードゲーム体験を通じて、これまで以上に、町や政治に親しみを持つことが可能なプログラムを作成した。

【事業内容】

- 参加者：町内の小学1年生から6年生の児童



【事業実績】

事業費 547千円
再委託：NPO法人 DAKKO 横張寿希代表

事業の効果、今後の展開など

- プログラムの目的である、「まちづくりボードゲームによって、「税金」から自分たちが住む町を知り、町の仕組みや施策によって、どのように街が変化するかを知ることを通じて、愛着を育む」について、一定の成果が得られた。
- フィールドワーク・ボードゲームなど体験型のプログラムとすることで、子どもたちの興味関心もより高まり、楽しい学びを提供できた。
- 将来的には、学校の社会科・総合的な探究の時間などのカリキュラムとの連携も視野に入れることで、より子どもたちにとって豊かな学びを提供していきたい。